

令和 7 年度 音楽総合学科 カリキュラムマップ [ウインドアンサンブルコース]

到達指標	
1. [知識・理解]	音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。 (1) 楽曲の背景や、基礎理論を学ぶことで、聞く人に伝わる演奏ができる。
2. [思考・判断・表現]	音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝え、必要に応じて教えることができる。 (1) 聞く人に応じた選曲や、レッスン対象に応じた指導ができる。
3. [技能]	音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。 (1) 演奏者として必要な情報収集能力やコミュニケーション能力を身につけ、円滑な人間関係を築くことができる。
4. [関心・意欲・態度]	常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人とコミュニケーションを取ろうとする意欲がある。 (1) 地域の音楽文化発展に寄与する自覚を持ち、専攻楽器の演奏技術を真摯に錬磨することができる。

1. [知識・理解]	2. [思考・判断・表現]	3. [技能]	4. [関心・意欲・態度]
------------	---------------	---------	---------------

1年次							2年次						
	期	科目名	1.	2.	3.	4.		期	科目名	1.	2.	3.	4.
専門科目	前期	吹奏楽Ⅰ	○	◎	○	◎	専門科目	前期	吹奏楽Ⅲ	○	◎	○	◎
		アンサンブルⅠ	△	◎	◎	◎			アンサンブルⅢ	△	◎	◎	◎
		吹奏楽概論Ⅰ	◎	◎	△	○			吹奏楽概論Ⅲ	◎	◎	△	○
		音楽総合特講Ⅰ	◎	◎	○	○			管楽器・業界研究Ⅱ	◎	○	—	△
		ヴォーカルⅠ	◎	◎	○	○			リペア入門Ⅰ	◎	◎	△	○
		ソルフエージュⅠ	◎	◎	○	△			楽器店実習	◎	○	—	◎
		音楽理論Ⅰ	◎	◎	○	○			音楽総合特講Ⅲ	◎	◎	○	○
		音楽史Ⅰ	◎	○	○	○			ヴォーカルⅢ	◎	◎	○	○
		鍵盤楽器Ⅰ	○	◎	◎	○			ソルフエージュⅢ	◎	◎	○	△
		音楽心理学	◎	○	△	◎			鍵盤楽器Ⅲ	○	◎	◎	○
		教育原理	○	◎	△	◎			作譜Ⅰ	◎	△	○	○
		発達心理学	◎	◎	△	◎			スポーツレクリエーションⅡ	△	○	○	◎
		子どもの保健	◎	○	△	△			和太鼓Ⅰ	△	○	◎	○
		音楽療法実践Ⅰ	△	◎	◎	△			臨床における即興技法Ⅰ	◎	◎	◎	△
	後期	専攻楽器Ⅰ	△	◎	◎	△		後期	音楽療法・臨床	◎	◎	△	△
		吹奏楽Ⅱ	○	◎	○	◎			音楽療法実践Ⅲ	◎	○	○	◎
		アンサンブルⅡ	△	◎	◎	◎			卒業研究Ⅰ	△	◎	◎	△
		吹奏楽概論Ⅱ	◎	○	○	○			吹奏楽Ⅳ	○	◎	○	◎
		管楽器・業界研究Ⅰ	◎	○	—	△			アンサンブルⅣ	△	◎	◎	◎
		音楽総合特講Ⅱ	◎	○	◎	○			吹奏楽概論Ⅳ	◎	◎	△	○
		ヴォーカルⅡ	◎	◎	○	○			リペア入門Ⅱ	◎	◎	△	○
		ソルフエージュⅡ	◎	◎	○	△			ヴォーカルⅣ	◎	◎	○	○
		音楽理論Ⅱ	◎	◎	○	○			ソルフエージュⅣ	◎	◎	○	△
		音楽史Ⅱ	◎	○	○	○			ポピュラー音楽史	○	○	○	◎
		鍵盤楽器Ⅱ	○	◎	◎	○			鍵盤楽器Ⅳ	○	◎	◎	○
		スポーツレクリエーションⅠ	◎	○	○	◎			作譜Ⅱ	◎	△	○	○
		音楽療法演習	○	○	◎	◎			スポーツレクリエーションⅢ	○	○	○	◎
		音楽療法・基礎	◎	◎	△	△			和太鼓Ⅱ	△	○	◎	○
		音楽療法実践Ⅱ	△	◎	◎	◎			社会福祉	◎	◎	—	△
		専攻楽器Ⅱ	△	◎	◎	△			特別支援教育	◎	○	○	○
						臨床実習	◎	△	△	◎			
						臨床における即興技法Ⅱ	◎	○	○	○			
						音楽療法・技法	◎	◎	△	△			
						音楽療法実践Ⅳ	◎	○	○	◎			
						卒業研究Ⅱ	△	◎	◎	△			